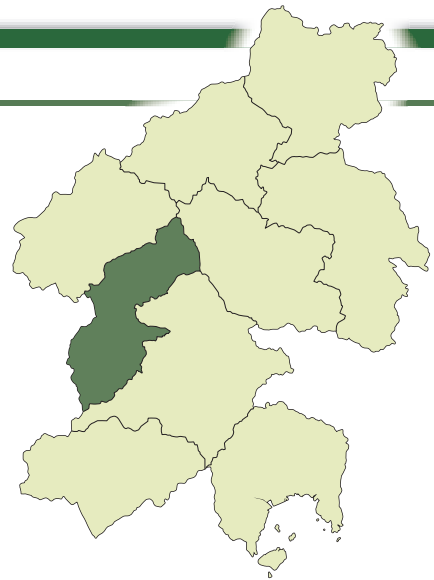


## 2 八本松地域



### 1 地域の概要

八本松地域は、東広島市の中西部に位置し、広島市に隣接しています。小倉神社をはじめとする菖蒲あやめの前の伝説に彩られたこの地域は、戦国時代には安芸国の拠点として曾場ヶ城そばがじょう、榎山城つちやまじょうが築かれるなど戦略的にも重要な地域でした。明治期には、山陽鉄道の開通の翌年に八本松駅がおかれ、現在は、八本松駅及び国道 486 号沿道を中心に住宅地の形成が進み、ロードサイド型の店舗が多く立地しています。地形的には南北に細長い形状となっており、概ね、北部や西部には山林が、南部には農地が広がり、中央部には駅周辺における住宅地のほか、飯田地区、磯松地区などに工業団地が整備されており、吉川地区の工業団地と合わせ、高度な技術を持つ企業が本地域に集積しています。

### 2 まちづくりにおける現状と課題

市制施行直後の昭和 50（1975）年に 14,816 人であった人口は増加を続け、八本松地域の人口は、現在、約 28,400 人となっています。JR 山陽本線等の交通利便性を活かした住宅団地の開発などが進み、発展を遂げてきた地域であり、今後、八本松駅前土地区画整理事業や（仮称）八本松スマートインターチェンジ整備の進展、国道 2 号東広島バイパス・安芸バイパスの整備に伴い、さらに本市の西の玄関口としての拠点性や、産業面など、市全体の活力を牽引する地域としての期待が高まってくるものと考えられます。

一方、近年、本地域においては、住宅団地の高齢化や、周辺地域における人口減少が進んでおり、地域の核である駅周辺地区における商業・医療・福祉・子育てなどの生活利便性機能の集積や、駅と周辺地区等を接続する交通ネットワークの充実が課題となっているほか、駅周辺におけるスプロール状の市街地の拡大や農地の喪失が続く中で、企業の進出や拡張に対する意欲が高い地域でありながら、これに応えることができないといった点が課題となっています。

さらには、立地環境の良いエリアに防衛施設が存在するなど、地域全体での機能的な土地利用に制約がある中で、まちづくりを進めなければならないという課題もあります。

これらを踏まえ、本地域においては、これまでに整備した工業団地、住宅団地の蓄積、広島市等の都市部への近接性や、高速道路等の広域的な道路ネットワークからのアクセス性の良さなどを活かすとともに、従来の田園環境と調和したまちづくりに取り組んでいくことが必要です。

また、引き続き基盤整備に取り組むとともに、魅力ある居住環境の整備や、高度な技術を持つ企業が国際競争の中でも本市で持続的に成長していくことを含め、新たな雇用を創出するための施策が必要です。

## 3 まちづくりビジョン

### (1) 将来像

地域の現状と課題を踏まえ、まちづくりにおける将来像を次のとおりとします。

**先端産業と田園風景の調和や都市との近接性を活かした  
良好な居住環境が整ったまち**

### (2) 主要な施策の方向性

基本計画に掲げる施策とともに、本地域で推進していく主な施策は次のとおりです。

#### 仕事 づくり

項目	施策の方向性
産業イノベーション※1の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業におけるAI※2/IoT※3の導入促進等により、産業イノベーションの創出を図ります。</li> </ul>
農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>優良農地を活かした都市近郊型農業を推進するとともに、農業参入企業の誘致を図ります。</li> <li>集落営農を中心とした収益性の高い米づくりを推進するとともに、農業技術センター等の研究機関と連携し、農業技術の高度化を図ります。</li> <li>地域と連携した森林保全を図ります。</li> </ul>
地域資源を活かした観光の振興	<ul style="list-style-type: none"> <li>都市との近接性を活かした農泊などの体験型観光や、地域資源を活用した取組みを推進します。</li> </ul>

#### 暮らし づくり

項目	施策の方向性
暮らしを支える拠点地区の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>八本松駅周辺において、医療、福祉、子育て、商業、文化、交流等の生活利便施設の集積により拠点機能の充実を図るとともに、下水道等の基盤整備など市街地整備事業により良好な住環境を形成します。</li> <li>移住定住の促進に向けた土地利用規制のあり方について検討するとともに、既存住宅団地の活性化等により、居住環境の向上を図ります。</li> <li>拠点地区における公共施設の再編を促進し、各種サービス機能の充実を図ります。</li> </ul>
安全で円滑な生活交通の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>身近な交通道路網となる国道等の整備を推進します。</li> <li>歩道や自転車道を含め、道路のバリアフリー化を推進し、安全・安心な移動空間を形成します。</li> </ul>
多文化共生と国際化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>技能実習生等の外国人市民の生活環境の充実を図るとともに、多様な言語・文化等の違いを超えて活動を支援します。</li> </ul>

※1 イノベーション：経済発展の最も主導的な要因。「新結合」「新機軸」。新たな価値を創造し社会に大きな変化をもたらす幅広い意味での革新。

※2 AI：Artificial Intelligenceの略。人工的につくられた人間のような知能、ないしはそれをつくる技術。

※3 IoT：Internet of Thingsの略。モノのインターネット化。様々な「モノ（物）」がインターネットに接続され、情報を交換することにより相互に制御することが可能となる仕組み。

## 人づくり

項目	施策の方向性
乳幼児期における教育・保育の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域特性に応じた幼児教育等の子育て支援環境の充実を図ります。</li> </ul>
高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 教育の質を高め「生きる力」を育むため、特色ある教育活動の推進、教育環境づくりを進めます。</li> </ul>
市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生涯学び、活躍できる環境として、学習活動の充実、芸術文化活動の活性化を進めます。</li> <li>● 大学や試験研究機関等との連携の充実を図ります。</li> <li>● 菖蒲の前の伝説や大内氏の城など郷土の歴史の保存と活用を推進します。</li> </ul>

## 活 力 づ く り

項目	施策の方向性
多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 創業・起業と連動した移住・定住の促進とともに、交流人口の拡大を図ります。</li> </ul>
都市成長基盤の強化・充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国道2号安芸バイパスの整備やスマートICの整備を踏まえ、産業用地の確保を進めます。</li> </ul>
交通ネットワークの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 国道2号安芸バイパスの整備促進とともに、スマートIC整備及び周辺道路等の整備を促進し、交通ネットワークの充実を図ります。</li> <li>● JR、バス等の利用を促進し、サービスの維持、活性化を図ります。</li> <li>● 八本松駅のターミナル機能の強化及び駅周辺の交通機能の向上を図ります。</li> </ul>

## 安 心 づ く り

項目	施策の方向性
災害に強い地域づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 被災箇所の早期復旧を進めるとともに、深堂川などの河川改修の促進や、ソフト対策等の防災・減災対策を推進します。</li> <li>● 都市型災害（浸水対策等）への対策を推進します。</li> </ul>
健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 健康維持や介護予防のための通いの場や地域サロンの充実を図ります。</li> </ul>
誰もが生き生きと暮らせる地域共生社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域において、気軽な交流の場、障害の有無や年齢等にかかわらず、全ての市民が集える場づくりを進めます。</li> </ul>
安心して子どもを産み育てられる環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子育て支援機能の充実、子育てサポーターの育成を進めます。</li> </ul>

